

2 自己分析・志望動機

① 自己分析とは

自己分析とは、就職活動を行うにあたり、「自分がどんな業界・業種に興味があるのか」、「自分はそこで何をやりたいのか」といったことを考えるために重要なことです。「働くということはどういうことか、自分自身の中でどう位置付けているか」を考えるとともに、自分自身の特徴をしっかりと理解すること、あわせて「自分の性格」、「適性」、「やりたいこと」などを分析し、文章化することにより、業種、企業、職種等を絞っていく上での選択基準となります。

② 自己分析の方法

自己分析をするとは、生まれてからこれまでの自分自身を振り返り、洗い出し、次のような項目についてまとめることです。自己分析は、今までの自分とより深く客観的に向かい合って考え、最終的には、初対面の人事担当者に、みなさんを理解してもらうための情報となります。(自己PR)

〈まとめる主な項目としては〉

- 1 職業観………社会人としての前提で組み立てる
- 2 性格(長所・短所)
- 3 学生時代にやってきたこと
- 4 ゼミ・研究課題
- 5 趣味・特技・資格
- 6 将来の自分…5年後、10年後の自分がどうなっているかライフプランを考え、その中で仕事(働くこと)をどう位置付けるか。

自己分析は大概慣れていないことから、とても難しい作業になります。また、時間の経過や実際の就職活動を通じて、「自分観」や「職業観」も変化するもので、完結するものではありません。自分だけが理解している内容では就職活動で通用しないので、周りの支援者(家族、友人、指導教員、学科就職指導委員、就職指導課など)に相談してください。

③ 志望動機のまとめ方

自己分析の延長線上にあるのが、より具体的な「自己PR」と「志望動機」です。企業の採用選考の中で、最も問われる柱となるのがこの2点です。

「志望動機」の基本的な内容は①「何でその業界(企業)に興味(関心)を持ったか」、②「その業界(企業)で何をやりたいのか」、③「①、②以外の独自の志望動機」をまとめたものです。

「志望動機」をまとめる上で参考になるのは、企業から出されるパンフレットやホームページなどの「開かれた情報」ですが、併せて、実際に職場を目にして得られる情報も大変貴重です。

④ キャリアプログラム

「自己分析」の方法や「志望動機」を明確にする方法など、みなさんが就職活動を進めるために、就職指導課では「キャリアガイダンス」や「就職試験対策」、「模擬面接」などを実施しているので、積極的に参加してください。なお、年間のプログラムの予定については「ポータルサイト」を参照してください。